



岡山県原水協通信

2011年8月12日 No178
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

原水爆禁止 世界大会

核廃絶へ爆発的署名運動を

原水爆禁止2011年世界大会は8月3日~9日まで広島、長崎で開かれ、世界大会・長崎には全国から7800人が参加しました。3~5日の国際会議には県原水協から中尾代表理事と県労伊原事務局長が参加しました。

5~6日の広島大会に岡山県から144人が参加しました。そのなかでPPO (Peace Piece おかやま) の青年たち47人はバスを仕立てて参加、5日には被爆者訪問行動、資料館見学、原爆碑めぐり、懇親会など充実した行動で学び、友好を深めました。

7~9日の長崎大会には県原水協から35人が参加しました。参加者の半数が20代という若々しい参加者で、全体会、分科会討議を通じてしっかり学びました。

右写真・全国各地で草の根で闘う運動の交流がおこなわれました。8/7 長崎



パン・ギムン国連事務総長から激励が

大会には世界25ヶ国・88人の政府代表、運動組織からの参加と、国連のパン・ギムン事務総長の「皆さんをパートナーとしてともに運動できることを誇りにおもう」というメッセージが寄せられました。今年の大会は3月の東日本大震災、原発事故の最中、被爆国日本の原発による放射能被害が拡大している状況の下で開かれました。被災各地の代表は「原発はいらない」と強く訴えられ、国際会議宣言でも「原発依存からの脱却、自然エネルギーへの転換を求め、広範な運動との連帯」を強調しています。そして核廃絶へむけた爆発的な署名運動を全国で繰り広げることを確認しました。

(写真・下 PPOの活動報告する岡山の青年たち 右・行動報告する平井事務局長 8/6広島)



PPO 自治体キャラバン など報告 広島大会



8月6日の世界大会・広島デー集会では、全国の運動の交流のステージで岡山のPPOが、「被爆者証言を映像と音で残し伝える活動や、核ゼロ教室など学習を重視して取り組んでいる」ことなどの活動を報告しました。また、平井事務局長が自治体キャラバンのなかで、県内27すべての首長・議長から「核兵器全面禁止のアピール」の賛同署名を集めたこと、懇談を通じて首長・議長から「皆さんの活動に敬意を表します」「原発にたよらないエネルギーを」などの激励が寄せられていることも報告しました。